

VOL.1

令和4年1月～3月

# 体験取材活動記録

築上町地域おこし協力隊



## あさりの経過観察

2022.1.6 (1日間)

取材内容

あさりの稚貝放流、経過観察、収穫作業のお手伝いを行い、あさを放流した場（陸側、海側、耕した場所）ごとの成長具合を確認しました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 稚貝から生育させ、自然の中であさりの生産サイクルを作り出すという試みに感動しました。漁港の皆さんの熱い思いを直に見た体験でした。



おまたっち

A. 長い年月をかけて築上町のあさりを守る活動が続けられていることを、町外の人にも知ってほしいと思いました。



メグ



協力隊が発見!

漁港全体の努力

大粒のあさを求める工夫と取り組み

近年漁獲量が減っているあさり。ただ増やすだけではなく再び海にあさが生まれ、大きく育つサイクルを作り出すための地道な努力が続けられています。

# ニ スターコーン FM

火曜朝 8:40~8:50 (10 分間)

## 取材内容

火曜日の 8 時 40 分から 50 分までの 10 分間、「築上タウンインフォメーション」にて体験取材の内容や感想等について放送をしています。

Q. 感想を一言お願いします!

A. はじめてのことで最初は緊張していましたが、町内の人から「聴いている」と言われることもあって嬉しいです。



しの

A. 協力隊の宣伝にもなっており楽しんでいます。2 年目以降も自分たちの活動を発表する場の一つとして続けていけたらいいと思います。



メグ

協力隊が発見!

ラジオパーソナリティーの魅力

声だけで届ける「大変さ」と「楽しさ」

声の大きさ、話す速さ、しゃべる内容。気にすることはたくさんあります。単純なようで難しく、そして面白い!



# ニ 旧藏内邸

2022.1.17~1.20 (計 4 日間)

## 取材内容

館内の清掃、環境美化に加え、来館したお客様のおもてなし(受付、案内、煎茶用意)、また、「ひなづくし」イベントの準備を進めました。

Q. 今後やってみたい事はありますか?

A. 私たちのような外部の視点から見た、オススメポイントをまとめた見所マップ作りです。訪れたお客様に旧藏内邸の素晴らしさをより知っていただくお手伝いのできたらいいと思いました。



しの

Q. 実際に協力隊と一緒に過ごしてみて、どうでしたか?



旧藏内邸  
高橋館長

A. 4 日間という短い間でしたが、積極的に行動していただき刺激を受けました。3 人が旧藏内邸のことを調べながら復習、確認していた姿が印象的でしたね。これからの活動も情熱を持ってがんばってください。健康第一で!

協力隊が発見!

旧藏内邸の魅力

お客様をお迎える心意気

一挙一動に「おもてなし」の気持ちがあり、建物や歴史だけでなく、その心こそが旧藏内邸の趣だと感じました。



# 上城井ふれあい協議会の 味噌づくり

2022.1.24~1.27 (計4日間)

**取材内容** 味噌作りの工程を体験。大豆や米を丁寧に洗い、それぞれ煮炊きや米麹への発酵を経て、味噌を作りました。

Q. 感想を一言お願いします!

A. 生産者としてのこだわりを教えてくださいました。特に、上城井産の大豆や米を使用しているというお話は、今後の地域の発展や販売につなげていく強みになるのかなと思いました。



おまたっち

Q. 実際に協力隊と一緒に過ごしてみて、どうでしたか?

上城井ふれあい協議会の皆様

A. 興味深く真面目に体験してくれたので、こちらも楽しく作業できました! 皆さんフレンドリーで、色々な趣味・特技を持っていて驚きました。今後は、味噌づくりを軌道に乗せて、販売につなげていきたいと思っています!

協力隊が発見!

上城井味噌づくりの魅力

地産地消にこだわる丁寧な味噌づくり

試行錯誤を繰り返し、多くの手間隙をかけてできあがる上城井味噌には、地域の思いがたくさん詰まっています。



# まこちの里の 寒田あらねづくり

2022.2.3 (1日間)

**取材内容** 寒田に住む方からレシピを聞いてあらねづくりに挑戦するまこちの皆さん。材料を量り、機械による餅つきと手作業のカッティングをお手伝いしました。

Q. 感想を一言お願いします!

地域の方が率先して「残そう」と動いていることが素晴らしいと思いました。自分たちも、そんな継承活動のお手伝いをしていきたいです。



しの

A. 伝統をなくしたくないという思いに共感し、自分が得意な外国語や SNS を用いて外に発信する手助けをしたいと思います。



おまたっち

協力隊が発見!

伝統継承の試み

ただつなぐだけではない、新しいものを

「伝統をつなぎながら新しいものを」という思いは人一倍。寒田あらねの新しい未来にも期待です。



# 加藤英二さんの 寒田あられづくり

2022.2.9 (1日間)

## 取材内容

固まった餅を剥ぎ、小さなあられに形成する作業を見学、体験しました。一度で3俵もつくるそうですがほとんどおひとりりでされていると聞き驚きました。

Q. 感想を一言お願いします!

地域の方と協力して加藤さんの味と技術を、特に若い方に知ってもらい・受け継いでもらえる環境づくりを考えていきたいと思いました。



メグ

A. 後継者問題のことを聞き、技術や味付けなどを継承し、残すための支援システムを地域と一緒に考えてみたいです。



おまたっち

## 協力隊が発見!

変わらぬ味をいつまでも。

## 寒田あられの第一人者

自然な味わいと素朴な色。昔ながらのあられは、寒田を代表する人と技術が組み合わさってこそその郷土菓子でした。



# フットパス

2022.2.9 (1日間)

## 取材内容

7つのフットパスコースのうち、林道や川沿いを通り、崖仏様を拝み、神社をお参りできる「かみきい さわだキャンプ場コース」を散策しました。

Q. 感想を一言お願いします!

フォトゲーニングのような、コースを利用し写真スポットを巡るなど、子どもも飽きずに楽しめるような工夫があれば、より面白くなりそうだと思います。



しの

A. 城井谷の様々な「いいところ」を眺められるため、季節や行事に絡めた告知、宣伝などに力を入れて紹介していきたいです。



メグ

## 協力隊が発見!

ありのままの景色を歩いて楽しむ。

## フットパスの魅力

城井谷の豊かな自然は訪れる人を癒やし、この町だから楽しめる歴史や景色を提供してくれます。



## きくいもクラブで 菊芋掘りから出荷まで

2022.2.16~2.18 (計3日間)

**取材内容** キクイモの収穫から泥落とし、選り分け、チップ加工、袋詰め、出荷までの準備など、一通りの流れと方法を体験しました。

Q. 印象に残った出来事がありますか？

A. 傷のあるものをただ廃棄するのではなく、別の形に工夫して加工していたことです。「食べ物を無駄にしない」というこだわりは、ブランドとしてアピールできる部分だと感じました。



しの

Q. 今後、やってみたいことはありますか？

A. 皆さんのキクイモに対する思いや体験を文章化し、消費者へ届けるコラムなど作ってみたいです。ぜひ作り手の物語を知ってみたいです。



メグ

協力隊が発見!

キクイモ  
づくりの  
魅力

どこよりもきれいに、おいしく。

少しの泥も見逃さない、ひとつひとつを丁寧に確認する目と手際の良さ。食卓に並ぶおいしさの秘訣が詰まった活動でした。



## どんど焼き

2022.2.20 (1日間)

**取材内容** 地域の行事参加のため、注連縄やしめ飾りの運搬と組まれたやぐらの中への運び入れ、昨年にかかれた俳句短冊の回収、どんど焼きの見学をしました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 正月飾りを買う人が減ったこともあり、やぐらが小さくなったと聞いて少しさみしくなりました。飾りの販売促進や、祭りを盛り上げる情報発信などお手伝いができないかと考えました。



おまたっち

A. 梅まつりとあわせ、地域行事として人気があると感じたので、もっと町外にもアピールし、築上町に訪れる人を増やすための宣伝をしたいと思いました。



メグ

協力隊が発見!

地域行事の  
魅力

祭りと神事、ふたつでひとつ。

町内の人の手によりやぐらを組み上げ、火を焚く。厳かな祓いの儀式に、思わず居ずまいを正す心地がしました。



# 信田淳さんの ヤーコン収穫体験

2022.3.7 (1日間)

## 取材内容

龍城院にて、ヤーコン掘りを行いました。手作業で一株ずつ掘り出し、大きさごとに分け、洗い上げて乾燥まで、出荷するまでの準備を体験させていただきました。

Q. 感想を一言お願いします！

A. 「ヤーコン」と言っても育てている品種が四種類もあり、それぞれ風味や色合いが違うので驚きました。しっかり保存をすれば四ヶ月近く、品質が保てるのも新鮮で、こういったところを宣伝して新商品の提案などしてみたいです。



おまたっち

A. 大きさが規格外のヤーコンを消費者の方へ届ける方法はないのかなと考えました。「食べ方が分からない」という声も聞くので、調理や保存方法を周知して、規格外でも欲しいと言ってもらえるように消費量を上げていきたいです。



メグ

協力隊が発見!

畑づくりの  
楽しさ

ヤーコン掘りを通して感じた、作物を収穫する喜び

農業というと大変なことに感じていましたが、教えてもらいながら土を触ること、収穫をして食べることなど、一つ一つの工程が楽しく、畑は「生きること」そのものを教えてくれる場所だと感じました。



本日はお忙しい中お越しいただき、  
誠にありがとうございました。

築上町を盛り上げていけるよう、  
私たちも一生懸命頑張っていきますので、  
今後ともよろしく願いいたします！

築上町地域おこし協力隊  
小俣元稀 加藤詩乃 斉藤愛